

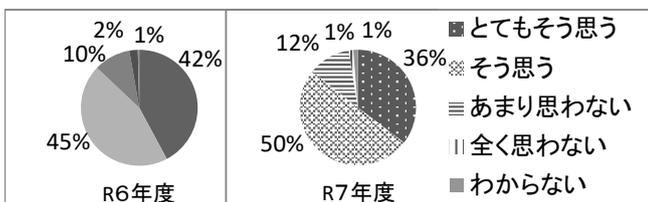
令和7年度 学校教育に関するアンケート結果

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、ご報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【肯定__%】は、肯定的評価（とてもそう思う、そう思うの割合の合計）です。

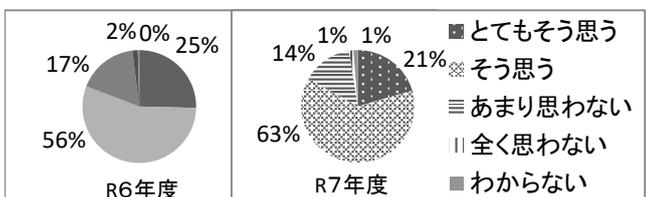
<児童の様子>

【質問1】 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



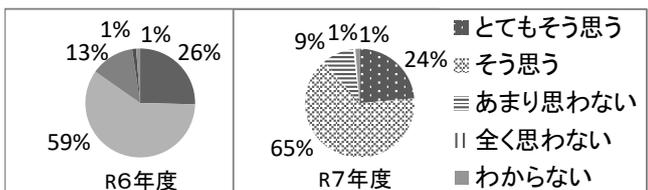
【肯定86%】本校では、1学期のGWまでの期間、中休みに教員が外に出て児童と一緒に遊んだり、夏休み明けにはスタートアップ期間を設けてゆるやかにスタートしたりすることで、児童理解を深め、安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。また、毎学期、児童全員と面談する機会を設けたり、いじめの兆候に気付けるよう教員研修を行ったりしています。これらの取組を通して児童との信頼関係を築き、いじめの早期発見・早期解決に努めてきました。また、本校代表委員と保谷中生徒会で命名した「ふれあい開放」（清掃なしのロング昼休みとし、中学校の校庭でも遊べる機会）を月1回設けており、のびのびと外遊びを楽しんでいます。来年度も「児童にとって明るく、楽しく、安心できる学校」を目指し、工夫改善を図ってまいります。

【質問2】 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



【肯定84%】意欲的に学習に取り組むためには、基礎的な学力と主体的な学びの姿勢が大切です。また、これからの時代を生きる児童にとって、思考力・判断力・表現力の育成は欠かせないものとなっています。本校では昨年度から「自分の考えをもち、他者と学び合える児童の育成～ファシリテーションを活用した指導の工夫を通して～」を研究主題とし、授業研究を行っています。また、「道徳交換授業」も実施し、担任だけではなく学年で児童の様子をみとり、安心して学習できるよう配慮してきました。来年度も児童がより意欲的に学習に取り組めるよう授業改善を行い、児童が安心して学び合える学校にしていきたいです。

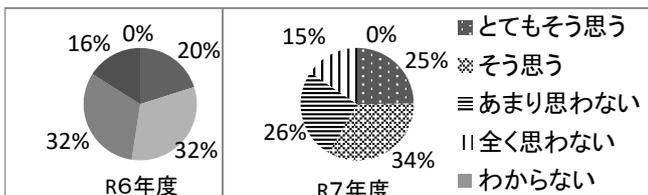
【質問3】 お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



【肯定89%】昨年度に比較して4%肯定的意見が増えました。一人一人の学習状況やつまづきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身に付けられるよう個別最適化した授業を意識しています。年に2回、東京ベーシックドリルを活用して習熟状況を診断したり、AIツール「Monoxer」を活用したりするなど、児童の基礎学力を伸ばす取組を行っています。また、当該学年の学習内容の確実な習得を目指し、低学年は毎月、中・高学年は隔月で放課後に「ステップアップタイム」を設定したり、中学年を対象にマンツーマン指導で基礎力向上を図る「本町っ子タイム」を実施したりしました。来年度も、基礎的な学習内容を身に付けられる取組を継続していきます。

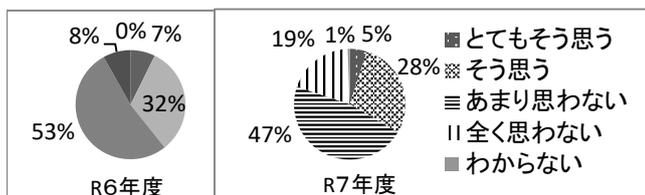
<ご家庭へのアンケート>

【質問4】 お子さんは、本を読んでいますか。



【肯定59%】昨年度に比較して7%肯定的意見が増えました。「家読の宿題」「図書委員会児童による読み聞かせ」「図書パックの活用」「本の紹介カード・新聞を用いたブックトーク」などを行い、読書を促してきました。また、小中連携の取組の一環として、6年生が保谷中学校に出向いてビブリオバトルを参観したり、保谷中学校の図書委員の生徒が図書室で読み聞かせをしてくれたりしました。これらの取組に合わせて、3年生以上の学年で「読書感想文の書き方指導」を実施したり、5・6年生で「図書館を使った調べる学習コンクールに向けた指導」を実施したりするなど、児童が課題意識をもって読書活動に取り組む学習を行ってきました。今後も児童がより本に親しむ機会が増えるよう工夫していきます。

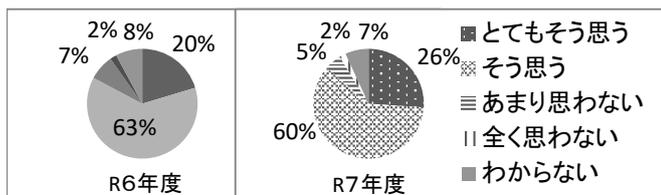
【質問5】 お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



【肯定33%】昨年度に比較して6%肯定的意見が減りました。年々、テレビやゲーム、ネット等への依存傾向が増えていることがアンケート結果に表れています。児童への意識調査でも同様の傾向が見られました。学校では、今年度もタブレットのルールやSNSとの関わり方について、発達段階に応じて指導してきました。現代を生きる子供たちの生活と、メディアやSNSとの関わりは切り離せない時代になっています。テレビやゲーム等との根本的な関わり方の改善には、ご家庭での指導と協力が欠かせません。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で協働していきたいと考えます。

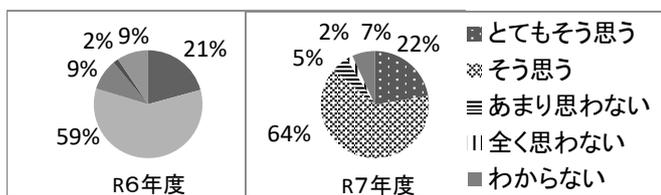
<学習指導・生活指導>

【質問6】 学校は、授業の工夫など、学力向上に努めていると思われますか。



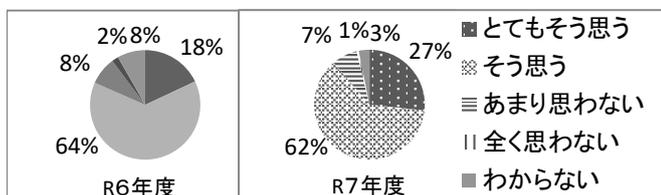
【肯定86%】AIが発展するこれからの時代を生き抜くために「協働問題解決力」が求められます。本校では、校内研究で児童の思考力・判断力・表現力の向上を目指し、ファシリテートされた授業実践を行っています。1月30日には、西東京市の研究指定校として、保谷中学校と共に研究発表も行いました。その他にも、5・6年生を対象に外部講師を招いて国際理解教育の体験型授業を行ったり、全ての学年で地域コーディネーターと連携して地域人材を活用した専門性の高い学習の場を設けたり、「西東京ふるさと探究学習」として柳沢商店街と連携した学習を行うなど、児童の主体性を引き出す工夫を心掛けています。来年度も引き続き、学力向上が図れるよう授業改善に努めます。

【質問7】 学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいると思われますか。



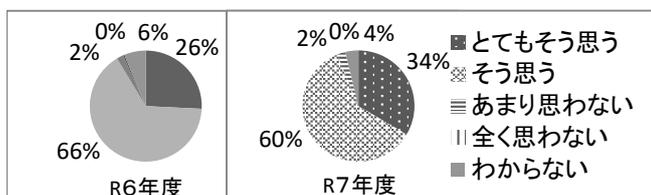
【肯定86%】昨年度に比較して6%肯定的意見が増えました。道徳交換授業を行うことで担任は学年の児童の顔と名前を把握することができ、複数の教員で礼儀や思いやりなど心の教育に当たることができています。また、登下校を見守ってくださる地域の方から「本町小の児童はよく挨拶を返してくれます。」と褒めていただきます。児童の中にも本町小学校のよさとして「気もちのよいあいさつ」が定着しています。今後は世話人会の方や他校からの来校者など、普段接する機会が少ない人に校内で会った際にも自分から気持ちの良いあいさつができる児童の育成に努めていきます。

【質問8】 学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



【肯定89%】昨年度に比較して7%肯定的意見が増えました。毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意喚起を行っています。今年度は、1学期に校舎内の危険について、2学期に通学路の危険について、スライドを用いて視覚的に指導を行いました。学区域には大きな道路に面している通学路があり、歩道の歩行に課題のある児童の様子も見られています。今後も交通事故防止のための指導を続けていきます。健康についても、手洗いや季節に合わせた服装について適宜指導を行っておりますが、ハンカチを持っていない児童が多いです。ご家庭でも、安全な登下校やハンカチ持参について話題にしてみてください。

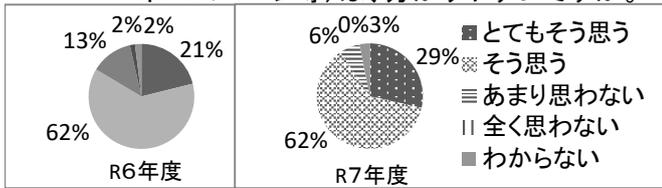
【質問9】 学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていますか。



【肯定94%】避難訓練は、いつどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くような様々な状況を想定して行っています。二次災害を想定して保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。児童対象のアンケートでも96%の児童が「訓練に真剣に参加できている」と答えていることから、意識の高さが伺えます。また、6月の土曜公開日の4時間目に避難所開設訓練を実施し、昨年度よりも多くの方に参加していただき、防災時の初動対応を確認しました。また、今年度は都内公立学校への不審者侵入報道を受けて不審者対応訓練を2回実施し、児童の安全確保を最優先とした動きの確認を行いました。

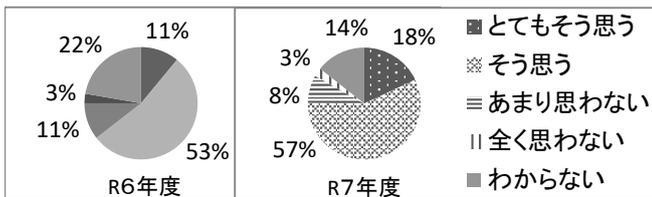
<教育方針>

【質問10】 学校からの情報伝達(学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等)は、分かりやすいですか。



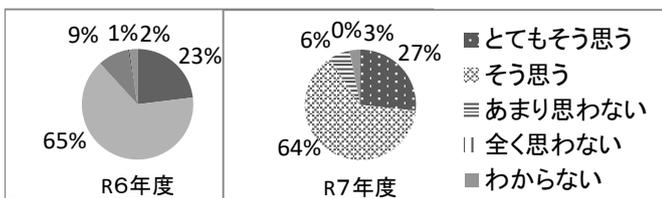
【肯定91%】昨年度に比較して8%肯定的意見が増えました。本校の学校経営方針については、学校便り、HP、4月の保護者会等でお伝えして参りました。さらに、行事の際に頂いたご意見に対しても、学校便りを通じて本校の方針を可能な限りお伝えしてきました。また、学校での様子を少しでも理解していただけるようほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指し、どのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非ご覧いただき、本町小の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

【質問11】 学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われませんか。



【肯定75%】本校ではいじめの兆候に気付けるよう職員研修を行っています。更に、毎学期いじめアンケートを行ったり、スクールカウンセラーによる全児童面談や、学期の始めに担任と面談を行ったりすることで、いじめの早期発見・早期解決に努めると共に、安心して登校できるよう配慮しています。また、道徳交換授業を行い複数の目で児童を見守り、ささいな変化にも気付けるよう配慮しています。肯定的意見が75%と、昨年よりも11%増えましたが、十分でないと考えてご家庭がある事実もしっかりと受け止め、今後も組織体制を組み、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、未解決ゼロに努めて参ります。

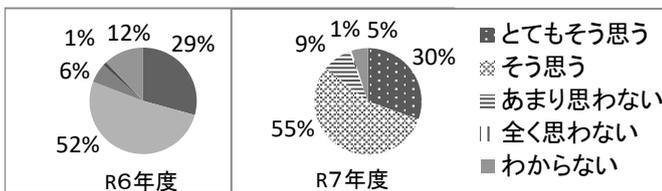
【質問12】 学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われませんか。



【肯定91%】昨年度からコミュニティスクール(CS)となり、保谷中学校とも小中連携を行いながら、開かれた学校の理念の下でよりよい学校教育を目指し活動しています。地域コーディネーターの方と打ち合わせをし、外部機関や地域人材と連携した授業を全ての学年で行っています。また、今年度予定されていた行事に関しては、全て実施できました。10月に実施した「本町小スポーツの日」では、生き生きとした子供たちの様子を見ていただけたかと思えます。11月には「本町万博展覧会」で子供たちの創造力の豊かさに驚かされ、給食でも各学年に割り振られた国にちなんだメニューが出されました。日頃教育活動を行うさまざまな場面で、保護者の皆様にはご理解、ご協力いただきました。ありがとうございます。

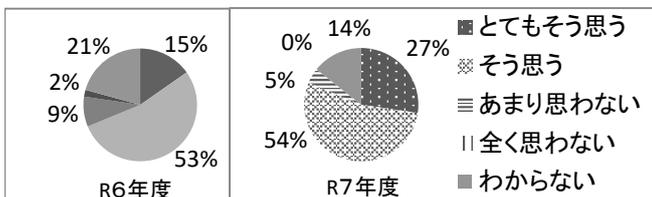
<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問13】 学校は、お子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いませんか。



【肯定84%】児童の健やかな成長のために学校と保護者の両者が協力・協働していくことで、大きな教育効果が得られると考えます。それと同時に、児童の心の安定・安心にも大きな影響があると考えます。今後も児童や保護者の方の悩み・相談にしっかりと耳を傾け、誠意をもって対応する学校を目指して全職員で実践してまいります。ただし保護者間におけるトラブルに関しては、学校は介入いたしません。児童同士のトラブルには、責任をもって対応し、人間関係が少しでも改善するよう支援することは、今後も行っていきます。

【質問14】 学校は、教職員の働き方改革をすすめていると思われませんか。



【肯定81%】留守番電話や閉庁日の設定などの対応に加え、道徳授業交換を行うことで教材研究にかかる時間を短縮したり、あゆみの所見を個人面談に代えさせて頂いたりすることで働き方改革を進めています。教員が適切な休暇を取得し、過度な残業とならないようにすることで、本分である授業準備に取り組む時間を設けたり、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたりすることに繋がると考えます。働き方改革の取組を積極的にお伝えし、来年度も推進してまいります。

